

# 校 園 長 室 か ら



## 学 校 教 育 目 標

### 共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年11月21日 第31号

### お伊勢参り

修学旅行から1週間がたちました。時間の流れの速さに驚くとともに、伊勢に行ったのだという実感が次第に薄れてきます。全員が無事に帰ってきてほっとした実感は、今も鮮やかです。

この伊勢への修学旅行、朝陽小学校では代々続いているもので、大正時代の修学旅行が伊勢に行っている証拠写真も現存します。

集会でもお話ししましたが、江戸時代になって参勤交代用に江戸を中心とした街道が整備されるとともに、一般市民の生活にも余裕ができ、各町の代表者を伊勢神宮にお参りさせる「講」というシステムが出来上がり、日本の歴史上最初の大旅行ブームが生まれます。

その行き先の最も有名どころが伊勢でした。

明治時代になって学制が引かれ全国に学校ができあがるとともに、修学旅行という形も生まれてきました。ちなみに『黒い雨』の小説で有名な井伏鱒二の作品に『駅前旅館』というのがある、これは修学旅行を引率する旅行社の添乗員さんのお話。面白いよ。

この江戸時代の流れと修学旅行という形が合体して朝陽小学校では、代々修学旅行で伊勢に行っているのだと思います。

ただ、時は流れ続けて、おかげ横丁の発展とともに、伊勢神宮に参拝する学校はほとんど姿を消しました。今回もみんな参拝はしていません。

何人かの方から「参拝しないのなら、なぜ伊勢に行くのか」と質問されて困惑しました。そろそろ伊勢方面への修学旅行も検討すべき時期が来たような気がします。

じゃあ、どこへいく？スペイン村は、楽しかったけど……。